令和6年度 理科 教科名第

9X 147 12 149					
科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
物理基礎演習	3	D	2	必修選択	70 時間

教科担当·教材等

学習日標

授	業担当者名	
	教科書	東京書籍「新編物理基礎」
ſ	吏用教材等	

科目の目標

【 知 議 及 び 技 能 】 自然の事物・現象についての概念や原理・法則についての基礎的・基本的な知識について理解を深める。 観察・実験の技能や・グラフの描写・読み取りなど科学的に探求する技能を身につける。 (思考力・判断力、表別力等) 自然の事物・現象を比較し、その違いに気がつくことができるようになる。 観察・実験で得られた結果を図や表、言葉を用いて説明できるようになる。 (学パに向かう力、人間性等) 自ら間いを見出し、観ぎ 探求等により、科学的に物事を考え、論理的に考察する力を身につける。 自然科学と社会とのかかわりについて、 既習事項を踏まえてとらえようとする。

<b>上回じ</b> 学期	<b>是業計画</b> 単元・単元の具体的な指導目標	指導項目·内容	評価基準
	A 単元名 力学・波動力学 【知】力学・波動力学の各単元内容についてグラフ や式を用いて、定量的に捉えることができる。 こと。	A 大学入試共通テスト対策の演習	A 単元名 力学・波動力学 【知】力学・波動力学の各単元内容についてグラフや式 用いて、定量的に捉えられている。
11	こと。 「思力学・波動力学における各単元の内容を組み 合わせて、日常生活に関わる問題など単元を横断 原、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈 し、表現するなど、科学的に探究している現象に対して に観り力学・波動力学分野に関わる現象に対して 主体的に関わり、科学的に探究しようさる態度を 養うこと。。また自己が立てた学習目標に即して計画を立て、実行・改善を行うことをできる。 8 単元名、波動力学・熱力学・電磁気学 【知】波動力学・熱力学・電磁気学 【知】波動力学・熱力学・電磁気学 【知】波動力学・熱力学・電磁気学の各単元内容用 についてグラフや式を用いて、定量的に捉えること にと、 (思)波動力学・熱力学・電磁気学に関わる問題な と単元を横断した総合的な現象理解について、見 通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果 を分析して解知し、表現するなど、科学的に探究している。 (記)波動力学・熱力学・電磁気学に関わる問題な を分析して解知、表現するなど、科学的に探究している。 (思)波動力学・熱力学・電磁気学に関わる現象 に対しても体的に関わり、科学的に探究したりと考 に対しても体的に関わり、科学的に探究しまうとす。 に対しても体的に関わり、科学的に探究しまうとす。 に対しても体的に関わり、科学的に探究とまっとす。 に対しても体的に関わらまるとのできまった。 の関を直とのできまった。 の関いてもなられている。	B大学入試共通テスト対策の演習	こと。 [思] 力学・波動力学における各単元の内容を組み合すせて、日常生活に関わる問題など単元を模断した総合な現象理解について、見過しをもって観察、実験などをい、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科的に探究している。 [想]) 力学・波動力学分野に関わる現象に対して主体に関わり、科学的に探究しようどする態度を養うこと。 を自己が立てた学習目標に即して計画を立て、実行・善善を行おうとしている。  B 単元名 波動力学・熱力学・電磁気学に対ける各単元内容用にしてグラフや式を用いて、定量的に捉えられている。  [思] 波動力学・熱力学・電磁気学における各単元の存著に組織して、大きの大きを持ちられている。 [思] 波動力学・熱力学・電磁気学における各単元の存著を組み合わせて、日常生活に関わる問題など単元の存著を組み合わせて、日常生活に関わる問題など単元を模断した総合的な現象理解について、見過しをもつて事務、実験などを行い、得られた結果を分析して解えている。 [思] 波動力学・熱力学・電磁気学に対しる現象に対すて主体的に関わり、科学的に探究している。 [態] 波動力学・熱力学・電磁気学に関わる現象に対て主体的に関わり、科学的に探究している。
2	A 単元名 原子・電子 【知】原子・電子の各単元内容についてグラフや式 を用いて、定量的に捉えることができる。 こと。 【思】原子・電子における各単元の内容を組み合わせて、日常生活に関わる問題など単元を横断した 実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、 表現するなど、科学的に探究している。 【題】原子分野に関わる現象に対して主体的に関 り、科学的に探究しようとする態度を表し、 また自己が立てた学習目標に即して計画を立て、 実行・改善を行うことをできる。 B 単元名 総合 【知】総合的な問題を分解し、各領域の話題に落と し込みグラフや式を用いて、定量的に捉えることが できる。 こと、 【思】解音のな問題を分解し、各領域の話題に落と し込みグラフや式を用いて、定量的に捉えることが できる。 こと、「限】各単元の内容を組み合わせて、日常生活に	В	A 単元名 原子・電子 [知]原子・電子の各単元内容についてグラフや式を用て、定量的に扱えられている。 こと。 [思]原子・電子の各単元内容についてグラフや式を用しまった。 日常生活に関わる問題など単元を横断した総合的な3 線生解について、見通しをもって観察、実験などを行り、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 [態]原子分野に関わる現象に対して主体的に関わり、計自己)立てた学習目標に即して計画を立て、実行・改善を行うとしている。  8 単元名 総合 [知]総合的な問題を分解し、各領域の話題に落としジグラフや式を用いて、定量的に捉えられている。 [知]総合的な問題を分解し、各領域の話題に落としジグラフや式を用いて、定量的に捉えられている。 同題など単元を横断した総合的な現象理解である。 「思]各単元の内容を組み合わせて、日常生活に関わ問題など単元を横断した総合的な現象理解など単元を模形した場と
	関わる問題など単元を補断した総合的な現象連携 について、見温をもって観察、実験などを行い、 得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科 等的に探究している。 (題)総合的な現象に対して主体的に関わり、科学 的に探究しようとある態度を養うこと。また自己が 立てた学習目標に即して計画を立て、実行・改善を 行うことをできる。 A 単元名 総合 【知】個々の物理の基礎概念を理解し、力学・熱力 学・電磁気学・波動力学の各単元の内容をグラフ 小式を用いて、定量的に収えることができる。大学 入試共通テストで診りの得点率を取れるようになる ことを年間数目標とする。	A 大学入試共通テスト対策の演習 B 大学入試共通テスト対策の演習	にて解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 (種)総合的な現象に対して主体的に関わり、科学的 探究しようとする態度を養うこと。。また自己が立てた。 習目標に即して計画を立て、実行・改善を行おうとして る。 A 単元名 総合 [知]個々の物理の基礎概念を理解し、力学・熱力学・ 磁気学・波動力学の各単元の内容をグラフや式を用い て、定量的に捉えている。 [思]物理の個々の基礎概念を組み合わせて、 言に関わる問題など単元を横断した総合的な現象理 活に関わる問題など単元を横断した総合的な現象理
	【思】物理の個々の基礎概念を組み合わせて、目 第生活に関わる問題など単元を横断した総合的な 現象理解について、見通しそもって観察、実験など を行い、得られた結果を分析して解釈し、表現する 記と、科学的に確究している。国公立個別人試で8 割の得点率を取れるようになることを年間数値目 様とする。 【題】」自然現象に対してに主体的に関わり、見て しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究し ようとしている。また自己が立てた学習目標に即し て計画を立て、実行・改善を行うことをできる。		について、見適しをもって観察、実験などを行い、得らた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に「探別している」 「感別」自然現象に対してに主体的に関わり、見適しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようといる。また自己が立てた学習目標に即して計画を立て実行・改善を行おうとしている。